エコアクション２１　環境経営レポート

【第 10 版】2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

作成　2023 年 4 月 22 日

有限会社　大周環境運輸

長崎県長崎市小江原 4 丁目 40-3

目　次

１．組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）　Ｐ1−Ｐ3

２．対象範囲（認証・登録範囲）　Ｐ3

３．環境経営方針　Ｐ4

４．環境経営目標　Ｐ5

5. 環境経営計画　Ｐ6

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容　Ｐ7−Ｐ8
　6.1 実施体制
　6.2 環境への負荷の現状

7. 環境経営目標の実績とその評価　Ｐ9−Ｐ11

8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容　Ｐ12−Ｐ13

9. 今後の環境目標【2023 年度～2025 年度】　Ｐ14

10. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反、訴訟等の有無　Ｐ15

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示　Ｐ15

１．組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）

（１）事業所名及び代表者氏名

社　名：有限会社　大周環境運輸

代表者：代表取締役　平野　周二郎

（２）所在地

本　社　　〒851-1132　　長崎県長崎市小江原４丁目４０番３号

事業所　　〒851-2123　　長崎県西彼杵郡長与町平木場郷５１２番地

（３）環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者及び担当者　　代表取締役　平野　周二郎

TEL　095-847-0129　　FAX　095-8417-0173

e-mail　taishu.k.u@gmail.com

（４）事業活動の概要

① 特別管理産業廃棄物収集運搬業

② 産業廃棄物収集運搬業

③ 一般廃棄物収集運搬業

④ 貨物軽自動車運送業

（５）事業規模

・設立年月日　　２００２年４月２６日

・資本金　　３００万円

・事業年度　　４月～翌年３月

項目	単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度
収集運搬量	ton	366.98	369.91	426.78
売上高	百万円	80.5	85.9	101.8
人員	名	6	6	6
床面積	㎡	47.14	47.14	47.14
敷地面積	㎡	866	866	866

（６）受託した廃棄物の収集運搬量

項目	単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度
特別管理産業廃棄物	ton	209.42	225.95	272.34
産業廃棄物	ton	122.3	124.3	121.3
一般廃棄物	ton	35.26	19.66	33.14
合　計	ton	366.98	369.91	426.78

（７）処理料金

収集運搬・処分の料金は、廃棄物の内容（種類、性状、数量等）を確認の上積算します。

（８）許可内容

《一般廃棄物収集運搬業》

県・政令市	許可期間	許可番号	事業の区分	廃棄物の種類	積替保管
長崎市	2022.6 2024.6	長崎市　第２７０号	収集運搬業	一般廃棄物	無

《産業廃棄物収集運搬業》

都道府県及び政令市	許可番号	許可年月日及び有効期間	事業の区分	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	ばいじん
長崎県	04210085919 優良認定	2017.7.17 2024.7.16	収集運搬 （積替保管は●）	○	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○
福岡県	04000085919 優良認定	2016.5.31 2023.5.30	収集運搬		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
佐賀県	04101085919	2023.3.17 2028.3.16	収集運搬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

《特別管理産業廃棄物収集運搬業》

都道府県及び政令市	許可番号	許可年月日及び有効期間	事業の区分	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性産業廃棄物
長崎県 優良認定	04260085919	2017.7.17 2024.7.16	収集運搬 （積替保管は●）	●	●	●	●	●
福岡県 優良認定	04050085919	2016.5.31 2023.5.30	収集運搬	○	○	○	○	○
佐賀県	04151085919	2023.3.17 2028.3.16	収集運搬		○	○	○	○

（９）施設の状況

①運搬車両

車　種	台　数
２ｔ保冷車	５台
営業車	３台
計	８台

②積替保管場所の内容

積替保管施設の所在地及び面積、許可の条件

《産業廃棄物》

所　在　地	長崎県西彼杵郡長与町平木場郷字舘ノ前 512 番（倉庫）		
産業廃棄物の種類	面積	保管上限	積上上限高
汚泥	0.18 ㎡	0.16 ㎥	容器を用いて屋内保管
廃油	0.18 ㎡	0.16 ㎥	
廃酸	0.18 ㎡	0.16 ㎥	
廃アルカリ	0.18 ㎡	0.16 ㎥	
廃プラスチック類	12.00 ㎡	24.00 ㎥	
ゴムくず	1.00 ㎡	1.00 ㎥	
金属くず	1.00 ㎡	1.00 ㎥	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1.00 ㎡	1.00 ㎥	

※これらのうち石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等であるものを含む

②積替保管場所の内容

積替保管施設の所在地及び面積、許可の条件

《特別管理産業廃棄物》

所　在　地	長崎県西彼杵郡長与町平木場郷字舘ノ前 512 番（倉庫）		
特別管理産業廃棄物の種類	面積	保管上限	積上上限高
廃油	0.18 ㎡	0.16 ㎥	容器を用いて屋内保管
廃酸	0.18 ㎡	0.16 ㎥	
廃アルカリ	0.18 ㎡	0.16 ㎥	
感染性産業廃棄物	4.42 ㎡	9.00 ㎥	
汚泥	0.18 ㎡	0.16 ㎥	

２．対象範囲（認証・登録範囲）

対象範囲：全事業・全組織を対象とします。

３．環境経営方針

〇基本理念

有限会社　大周環境運輸は、近年深刻化する地球温暖化や資源の枯渇等の環境問題を重要問題と認識し、事業の実施にあたっては、廃棄物の３R、省資源・省エネルギー等環境負荷低減の継続的改善に自主的・積極的に取組み、地域の環境保全及び循環型社会の構築に貢献し、地域住民から信頼される企業を目指します。

〇環境経営方針

１.当社は､事業活動に関わる環境への負荷低減のための環境活動として､次の事項を重点的に取組みます。

（１）事業活動における消費電力の節減や効率化を図る等、省エネと排気ガスの抑制に取り組み二酸化炭素の排出の削減に積極的に努めます。

（２）事業活動に伴う廃棄物の削減に努め、産業廃棄物の再資源化、リサイクル活動を積極的に推進します。

（３）水資源を大切にし、節水活動に努めます。

（４）グリーン購入の拡大並びに循環資源の活用を積極的に推進します。

（５）受託した廃棄物の収集運搬における環境への配慮を積極的に推進します。

（６）行政・他団体・地域住民・取引関係者とコミュニケーションを図り情報の交換など協力し合うことを推進します。

２．事業活動を行う上で、各関連法規、条例、規制等を遵守します。

３．環境経営方針は、定期的に見直し、全従業員にあらゆる機会を通じて周知します。

４．環境経営レポートを開示するなど、社内外に対して環境に関する情報の提供を行うと共に、環境に対する意識の向上に努めます。

２０１９年４月１日改定
有限会社　大周環境運輸
代表取締役　平野　周二郎

4. 環境経営目標（2020 年度～2022 年度）

・環境経営目標は 2016 年度～2018 年度迄の 3 ヵ年の平均値を基準値として計画しました。

（期間は、４月１日～翌年３月３１日まで。）

目標	単　位	（基準年度）2016 年度～2018 年度迄の 3 ヵ年の平均値	2020 年度	2021 年度	2022 年度
（１）二酸化炭素排出量の削減	kg－CO2	46,114	46,114 継続・維持	46,114 継続・維持	46,114 継続・維持
①電力消費量の削減	kWh	5,362	5,362 継続・維持	5,362 継続・維持	5,362 継続・維持
① ガソリン使用量の削減	L	1,492	1,492 継続・維持	1,492 継続・維持	1,492 継続・維持
② 軽油使用量の削減	L	15,306	15,306 継続・維持	15,306 継続・維持	15,306 継続・維持
（２）自社発生廃棄物 一般廃棄物の削減	kg	1,350	945 30％減	810 40％減	675 50％減
（３）水使用量の削減	m^3	13	13 継続・維持	13 継続・維持	13 継続・維持
（４）グリーン購入推進	品目	3	3	3	3
（５）受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮 収集運搬車両のリッターあたりの走行距離	km／L	7.105	7.105 継続・維持	7.105 継続・維持	7.105 継続・維持
（６）地域清掃活動の実施	回数／年	1／年	1 回以上／年	1 回以上／年	1 回以上／年

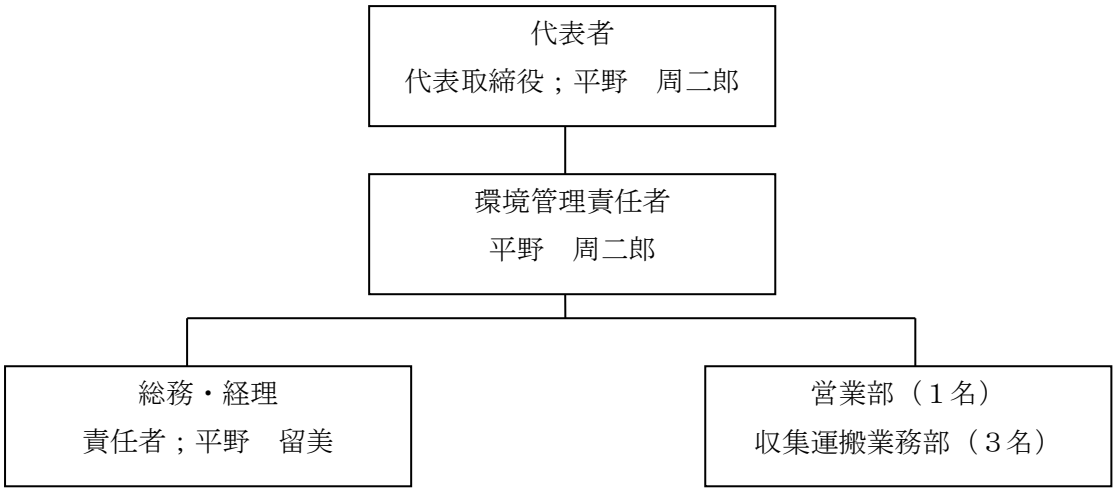
※購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力、2017 年度の調整後の値、0.463（kg－CO2／kWh）を使用して算出しています。

5. 環境経営計画（2020 年度～2022 年度）

目標		取　組　内　容	部門	責任者
⑴二酸化炭素排出量の削減	電力消費量の削減	昼休み及び不在時の照明消灯（こまめに消灯をおこなう）	総務	社長
		未使用時のパソコンの電源 OFF（使用後、直ちに電源 OFF）	総務	社長
		エアコンの設定温度を決め、実行する。（夏季 28℃　冬季 22℃）	総務	社長
		空調機のフィルターの定期的な清掃	総務	社長
	ガソリン・軽油使用量の削減	作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図る（作業日報をつける）	収集運搬業務	社長
		急発進・空ぶかし・スピードの出し過ぎの防止	収集運搬業務	社長
		タイヤの空気圧を定期的に確認。	収集運搬業務	社長
⑵廃棄物排出	自社発生廃棄物（一般）の削減	当社で発生するコピー用紙の裏表使用の徹底	全社員	社長
		ミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認し、使用後は必ず設定をリセットする	全社員	社長
⑶水使用量削減	水使用量の削減	節水活動の推進	全社員	社長
⑷グリーン購入推進	グリーン購入の推進	トイレットペーパーの購入品目検討	総務	社長
		コピー用紙の購入品目検討	総務	社長
		名刺の購入品目検討	総務	社長
⑸事業における環境配慮	廃棄物収集運搬における環境配慮	収集運搬車両のリッターあたりの燃費の向上	収集運搬業務	社長
⑹環境貢献	地域清掃活動の実施	清掃活動等の実施	全社員	社長

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

6.1. 実施体制



役割、責任及び権限

氏名	所属	役割・責任・権限
平野周二郎	代表者	全体統括・環境方針の策定・環境への取組を実施するための資金の準備をする。
平野周二郎	環境管理責任者	全体の把握・環境経営システムを構築、運用し、その状況を代表者に報告する。
各従事者	各部署	環境への負荷のチェックを実施し、その結果を点検の上、環境管理責任者に報告する。

6.2. 環境への負荷の現状

◇過去３ヵ年の環境への負荷の実績

（期間は、４月１日～翌年３月３１日まで。）

項　目		単　位	2019 年度	2020 年度	2021 年度
二酸化炭素排出量		kg－CO2	40,588	41,752	44,524
	電力消費量	kWh	5,010	4,733	5,224
	ガソリン使用量	L	1,105	1,659	2,017
	軽油使用量	L	13,839	13,842	14,506
受託した産業廃棄物の処理量					
	収集運搬量	t	359.62	366.98	369.91
自社発生廃棄物					
	一般廃棄物	kg	170	260	196
水使用量の削減		m^3	10	10	12
化学物質使用量		kg	使用していません		
資源等使用量					
	資源使用量	t	該当なし		
	循環資源使用量	t	該当なし		
総製品生産量または総商品販売量		t	該当なし		

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、2017 年度九州電力、調整後排出係数、0.463（kg－CO2／kWh）を使用して算出しています。

7. 環境経営目標の実績とその評価

【実績】　　2022 年 4 月～2023 年 3 月まで。

目標	単　位	2022.4～2023.3	2022.4～2023.3	目標達成率	判定
		目標	実　績	実績／目標	
（1）二酸化炭素排出量の削減	kg－CO2	46,114	48,698	94.7%	△
①　電力消費量の削減	kWh	5,362	5,749	93.3%	△
②　ガソリン使用量の削減	L	1,492	1,519	98.2%	○
③　軽油使用量の削減	L	15,306	16,519	92.7%	△
（2）自社発生廃棄物の削減					
一般廃棄物	kg	675	320	211%	◎
（3）水使用量の削減	m^3	13	10	130%	◎
（4）グリーン購入推進	品目	3	3	100%	○
（5）受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮 収集運搬車両のリッターあたりの走行距離	km／L	7.105	7.17	101%	○
（6）地域清掃活動の実施	回数／年	1 回以上／年	1 回／年	100%	○

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力、2017 年度の調整後の値、0.463（kg－CO2／kWh）を使用して算出しています。

※（1）～（3）は、削減項目のため、達成率の基礎計算式は目標／実績×100 とする。

（4）～（6）は、増加項目のため、達成率の基礎計算式は実績／目標×100 とする。

判定基準は、全ての項目において下記の通りとする。

◎印---110%超　　○印---95%～110%未満　　△印---85%～95%未満　　×印---85%未満

【評　価】

二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量は目標を達成できませんでした。

・電力消費量の削減

当社は医療廃棄物（コロナウィルスが付着した感染性廃棄物）を取り扱うためドア及び倉庫、シャッター等を常に開放して換気を徹底しています。その為、事業所内（事務所及び倉庫）の適切な温度管理が出来ず電力消費量が増加したと思われます。このような厳しい環境にありますが節電に努めます。

・ガソリン及び軽油使用量の削減

コロナ関連の感染性廃棄物の増加及び収集運搬範囲の拡大により当社の環境負荷の一番の要因である軽油及びガソリンの使用量が増加しました。これは産業廃棄物の取扱い量及び売上高増加により比例して増えるもので、リッターあたりの走行距離は目標を達成していますのでエコドライブは推進できています。
今後もより一層エコドライブに努めます。

自社発生廃棄物（一般廃棄物・産業廃棄物）の削減

自社発生廃棄物については前年度同様、事務所等から廃棄される一般廃棄物の文書等の管理を徹底し、ペーパーレスに務めていますので大幅に削減できています。

水使用量の削減

もともと使用量は少なく目標を達成しています。

グリーン購入の推進

名刺やコピー用紙を再生紙に切り替え目標は達成している。

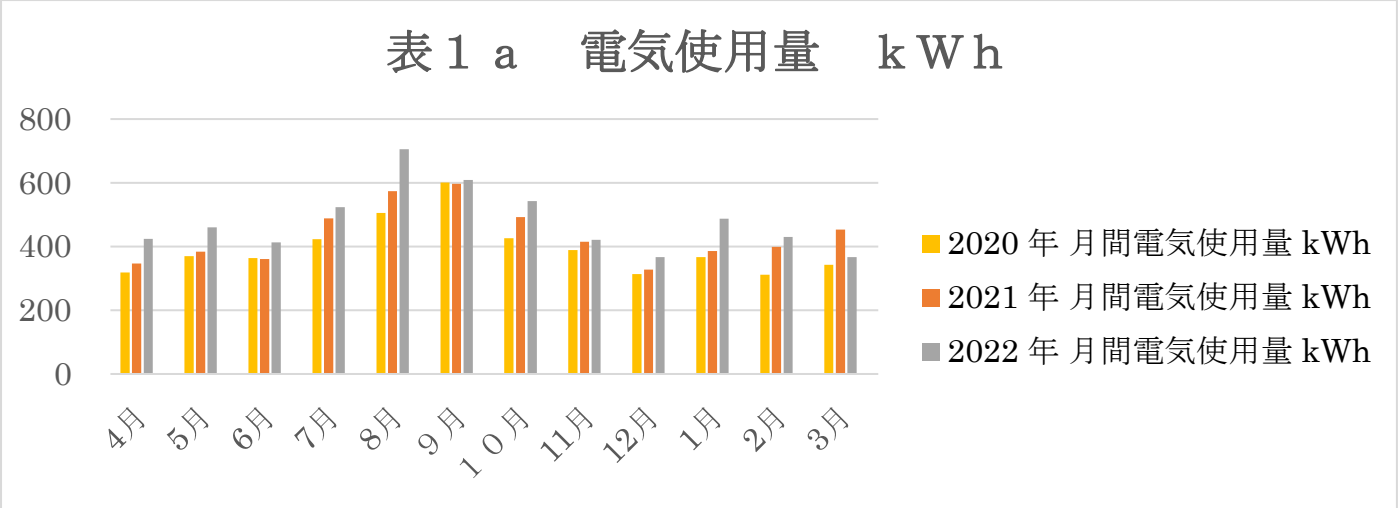
事業における環境配慮

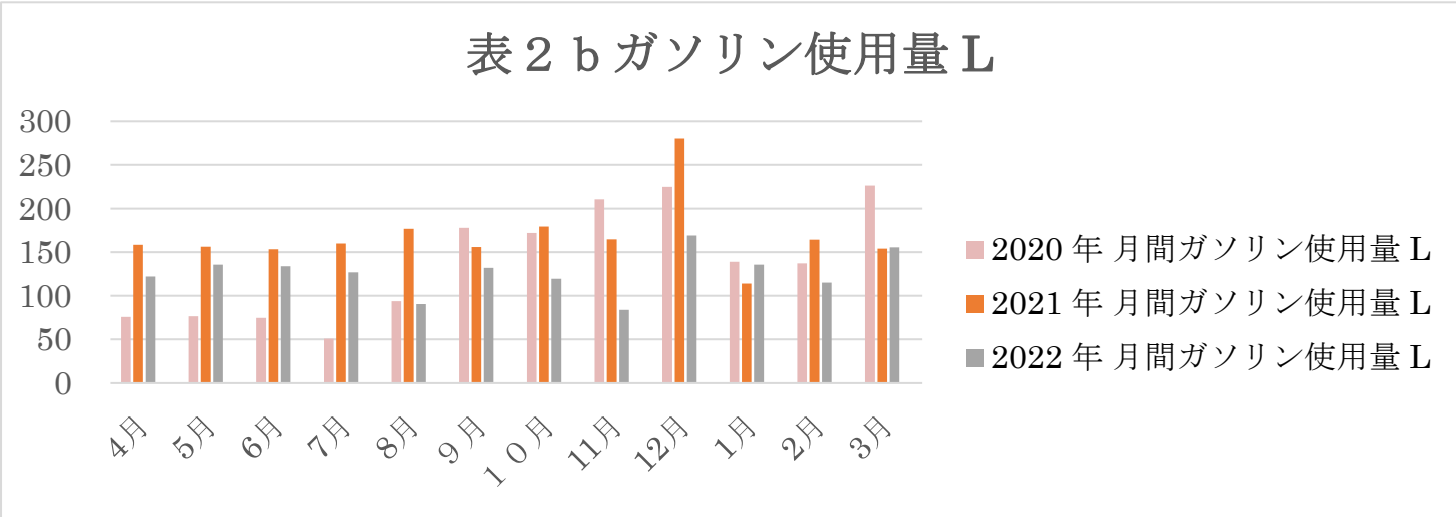
収集運搬コースの見直しや車両の点検整備をし、安全で効率の良い運搬を心がけています。
また、エコドライブを確実に行うことによりリッターあたりの燃費は向上しています。
今年度、環境配慮型車両を１台導入します。

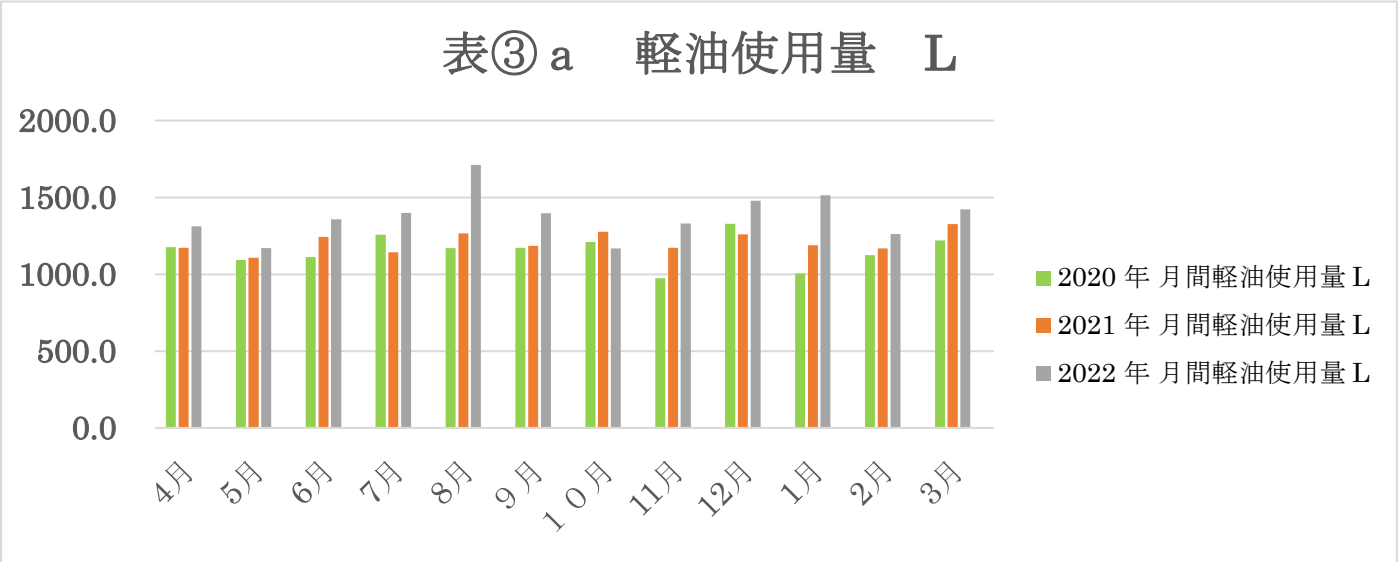
地域清掃活動の実施

地域貢献活動の一環として会社周辺の清掃作業（ゴミ拾い、草刈り等）を実施しました。

【エネルギー使用量年間推移グラフ】







8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標		取　組　内　容	実績	評価	次年度の取組
⑴二酸化炭素排出量の削減	電力消費量の削減	昼休み及び不在時の照明消灯	○	確実に行われた	当社はコロナ関連の感染性廃棄物を取り扱う為、換気を徹底しています。常にドアを開放し、空気清浄機能を常時稼働させているので前年度より消費量は増加している。少しでも削減するよう残業等に伴う使用電力を減らすよう時間短縮などの仕事率の向上を図る努力する。
		未使用時のパソコンの電源OFF(使用後、直ちに電源OFF)	○	起動が早いパソコンに替えたので、ON/OFF が実行しやすくなった	
		エアコンの設定温度を決め、実行する。（夏季 28℃　冬季 22℃）	△	適正な温度管理を心がけているが、コロナ禍で換気のため常にドアを開放しているので消費量は増えた。	
		空調機のフィルターの定期的な清掃	○	フィルターの掃除は定期的に行っている。コロナ禍で空気清浄機能を常に稼働させているため電力消費量は増加している	
	ガソリン・軽油使用量の削減	作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図る	○	毎日収集コースを設定している作業日報をつけて常時見直している	コロナ関連の感染性廃棄物の増加及び収集運搬範囲の拡大によりガソリン及び軽油の使用量が増えた。廃棄物の取扱い量及び売上高の増加のため比例して増えるのは当然のことだと思う。エコドライブのより一層の推進で少しでも削減するように努めます。
		急発進・空ぶかし・スピードの出し過ぎの防止	○	実施している	
		タイヤの空気圧を定期的に確認。	○	実施している	
⑵廃棄物排出量の削減	自社発生廃棄物（一般）の削減	当社で発生するコピー用紙の裏表使用の徹底	△	極力実施しているが印刷されている内容によっては再利用できない場合がある。	個人情報漏洩、機密保持に注意しながらコスト削減を意識して引き続きおこなう。
		ミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認し、使用後は必ず設定をリセットする	○	実行している	
⑶水使用量削減	水使用量の削減	節水活動の推進	○	実行している	確実に行われている。引き続き継続して行う。
⑷グリーン購入推進	グリーン購入の推進	トイレットペーパーの購入品目検討	○	実施している	確実に行われている。さらに積極的に取り組んでいく。
		コピー用紙の購入品目検討	○	実施している	
		名刺の購入品目検討	○	実施している	

⑸事業における環境	廃棄物収集運搬における	収集運搬車両のリッターあたりの燃費の向上	○	毎日運転日報をつけて実施している	コースの見直し及び車両の点検、エコドライブを常に行っている。 引き続き継続して取り組む。 今年度、環境配慮型車両へ 1 台入れ替える。
⑹環境貢献	地域清掃活動の実施	清掃活動等の実施	○	周辺道路の清掃を実施している	引き続き積極的に参加する

9. 今後の環境目標【2023 年度～2025 年度】

・環境目標は 2022 年度実績を基準値として計画しました。

（年度期間は、4 月 1 日～翌年 3 月 31 日まで。）

環境目標	単　位	（基準年度） 2022 年度実績	2023 年度	2024 年度	2025 年度
（1）二酸化炭素排出量の削減	kg－CO2	48,396	48,396 継続・維持	48,396 継続・維持	48,396 継続・維持
①電力消費量の削減	kWh	5,749	5,749 継続・維持	5,749 継続・維持	5,749 継続・維持
②ガソリン使用量の削減	L	1,519	1,519 継続・維持	1,519 継続・維持	1,519 継続・維持
③軽油使用量の削減	L	16,519	16,519 継続・維持	16,519 継続・維持	16,519 継続・維持
（2）自社発生廃棄物 一般廃棄物の削減	kg	320	304 5%減	304 5%減	304 5%減
（3）水使用量の削減	㎥	10	10 継続・維持	10 継続・維持	10 継続・維持
（4）グリーン購入推進	品目	3	3 継続・維持	3 継続・維持	3 継続・維持
（5）受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮 収集運搬車両のリッターあたりの走行距離 （収集運搬車両４台の平均燃費）	㎞／L	7.17	7.17 継続・維持	7.17 継続・維持	7.17 継続・維持
（6）地域清掃活動の実施	回数／年	1 回／年	1 回以上／年	1 回以上／年	2 回以上／年

※基準値及び 2023 年度以降の購入電力の二酸化炭素排出係数は、2021 年度九州電力の調整後の値、0.392（kg－CO2／kWh）を使用して算出しています。

10．環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟などの有無

《当社の守るべき主たる環境関連法令》

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反や訴訟はありませんでした。

また、過去３年間に関係当局からの違反等の指摘もありませんでした。

2023 年 4 月 22 日

環境管理責任者　　平野　周二郎

11．代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度（2022 年 4 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日迄）の活動の結果を踏まえ、代表者による全体的な評価の見直しを行いました。

当社は毎日コロナウィルスに汚染された感染性廃棄物を取り扱っています。そのようなリスクを背負って、今年度も「感染しない、させない」をモットーに社員一同力を合わせ活動いたしました。そのおかげで 3 年間誰一人感染することもなく仕事に従事できています。

コロナに罹らないように注意していることは、換気、手指消毒、体温測定、マスクは毎日 2 回午前と午後に取り替えていますし、作業手袋も洗濯をした清潔なものに毎日交換しています。また、車両の消毒も各車両に消毒用エタノールと除菌シートを常備し毎日徹底して行い、終業時には消毒管理担当者がチェックしています。そんな中、換気のため、密にならないように、暑い日も寒い日も事業所内のドアを開放しエアコンや空気清浄機を常に作動させていますので、適切な温度管理が出来ず電力消費量は増加しました。しかしながらこの増加は従事者の健康を守るため、エッセンシャルワーカーとして仕事を中断させないよう、また、会社を存続させていくために必要なことだと考えています。それでも電力消費量を少しでも削減するように残業等に伴う使用量を抑えるべく時間短縮につながるように仕事率向上を図り努力しています。

また、コロナによる感染性廃棄物の増加及び収集運搬範囲の拡大により、当社の環境負荷の一番の要因である軽油・ガソリンの使用量も増加しました。これは仕事量及び売上高の増加に伴い比例して増えているため当然のことだと考えています。それでもなお環境に配慮し二酸化炭素排出量の削減に向けて、収集運搬車のエコドライブや走行距離短縮及び効率化のため常にコースの見直しを適切に行い、エコドライブの推進に努めています。今後も環境に配慮するように心がけて環境負荷の削減に努めていきます。

2023 年 4 月 22 日

有限会社　大周環境運輸

代表取締役　平野　周二郎